

国際会議報告

APMC 2023 報告 (麗しの宝島のマイクロ波国際会議)

APMC 2023 Report

(Microwave International Conference on Beautiful Treasure Island)



慶應義塾大学理工学部化学科 山田 徹

Department of Chemistry, Keio University, Tohru Yamada

〒223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1

e-mail: yamada@chem.keio.ac.jp

横浜でハイブリッド開催された APMC 2022 (会期: 2022 年 11 月 29 日から 12 月 2 日) は、「新しい社会秩序のなかでスーパースマート社会の実現を目指すマイクロ波工学の挑戦 (Challenges of microwave engineering for the super smart society in the new normal)」がテーマでしたが、これに引き続き今年は、中華民国 (台湾) で 2023 年 12 月 5 日 (火) から 8 日 (金) の日程で APMC 2023 が「世界をつなげるマイクロ波 (Microwave Linking the World)」をテーマに完全対面で開催された。実行委員長は長庚大学 (Chang Gung U) の郭 仁財 (Jen-Tsai Kuo) 教授、開催母体は中華民国微波學會 (Taiwan Microwave Association)、国家科学及技術委員会 (日本の旧科学技術庁に相当)、会場は台北のランドマークのひとつ、台北 101

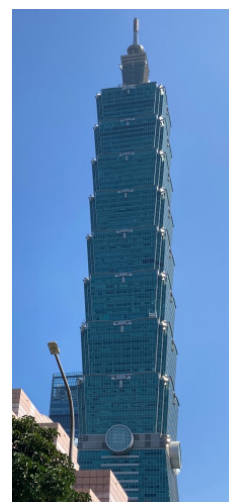


写真1. 台北101

(写真 1) に隣接する Taipei International Convention Center (TICC) であり、500 名を超える参加登録者を集めた。発表申込は、29 の国/地域から 486 件が集まり、これらが 39 の小委員会で査読された結果、343 件 (約 70%) のプレゼンテーションが採択された。初日のワークショップから始まり、2 日目にオープニングセレモニー、夕方にレセプション、最終日にバンケットの日程が組まれた。



写真2. スポンサー紹介パネル

ワークショップ，テクニカルセッションとも，9つの講演室で行われた。大会テーマにあるように通信分野が中心の議題であったが，バイオメディカルセンシング技術はワークショップでも取り上げられた。また，ワイヤレス電力伝送技術も複数のセッションで討議され，篠原 真毅先生，三谷 友彦先生の座長で運営された。今回，少数勢力ではあるがマイクロ波化学のセッションも設けられ，小職のほか，清水 弘樹博士（産総研），侯 敦仁（Hou Duen-Ren）教授（國立中央大學，National Central U）など有機合成化学へのマイクロ波適用例が発表された。また，インタラクティブフォーラムとして94件のポスター発表があったが，企業の展示会場の中央に全てe-Posterとして大型モニターを使ったポスターセッション（写真3）は大変に斬新であった。さすが半導体大国の台湾ならではの，と感じた。USBひとつだけで，大きなポスターを抱えて出かける必要はなく，また動画も組み込むこともできるなど，今後はこの方式が広がっていくのではないだろうか。



写真3. 大型モニターを使ったe-Poster

バンケットもまた台北のランドマークのひとつである圓山大飯店（The Grand Hotel，写真4）で開催された。羽田便が台北松山空港に着陸するときに，左側窓外にひととき目立つあの赤い建築物である。台北101からはチャーターバスで移動となったが，バンケット開始までの時間を利用して，圓山大飯店の特別ツアーが企画された。圓山大飯店は日本統治時代の台湾神宮の跡地に，中華民国（台湾）を代表する迎賓館として，蒋介石と宋美齡により建設された。



写真4. バンケット会場の圓山大飯店

大陸との緊張が続くなか，このホテルには滑り台付きの避難経路が2つ用意されている（写真5）。今回特別ツアーとしてこれらが公開された。一般にはあまり公開されていないため，多くの台湾人もツアーに参加した。避難階段は銃撃から逃れるためクネクネと曲がっており，さらに音が敵に察知されないよう天井には突起が施されるなど，まさに戦時仕様である。バンケットは，中国の民族舞踊と獅子舞で開幕，豪華な中華料理とともに，高粱酒（58度）も供された。また次回APMC 2024は，2024年11月17日から20日の会期で，インドネシアのバリ島で開催されることが紹介された。再び，麗しの宝島でのマイクロ波国際会議の開催である。



写真5. 秘密の避難トンネル